

# 統計グラフにはいろいろな種類があるよ！

◎ グラフには、①棒グラフ、②折れ線グラフ、③円グラフ、④帯グラフ、⑤絵グラフなどがあります。



グラフを作るときには、「何を比べるのか」、「何を伝えたいか」などを考えて、目的にあった統計グラフを使おうね。

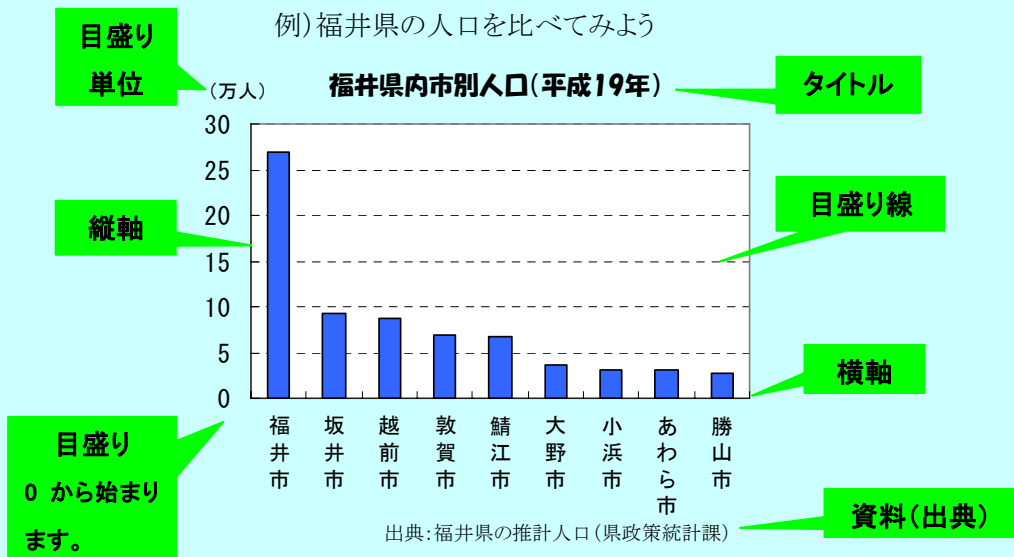
グラフを作るときは、  
①グラフのタイトル  
②目盛り、単位  
③使った資料(出典)を  
忘れずに書いてね。



## ① 棒グラフ

数量の差や大きさなどを表します

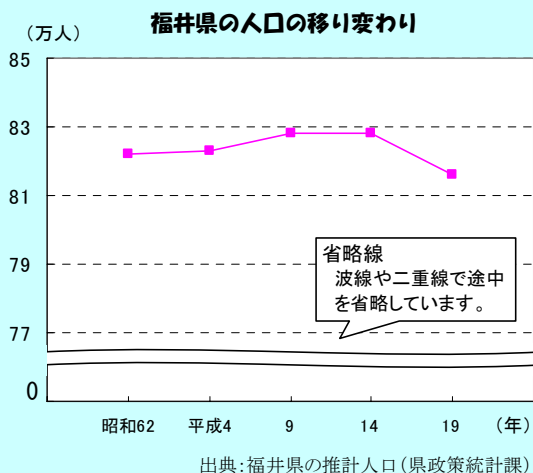
例) 福井県の人口を比べてみよう



## ② 折れ線グラフ

時間の移り変わりによる変化を表します

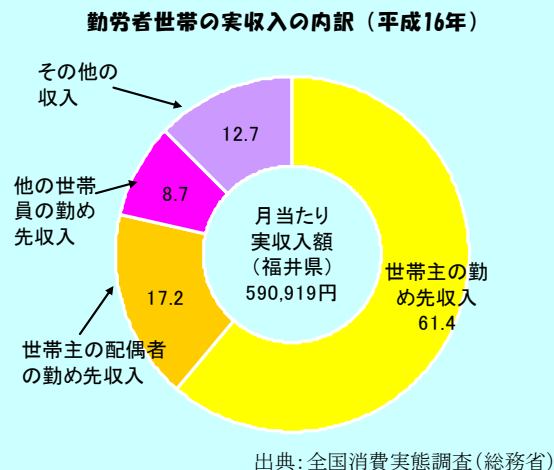
例) 福井県の人口の変化を見てみよう



## ③ 円グラフ

全体の中でどれくらいあるかを表します

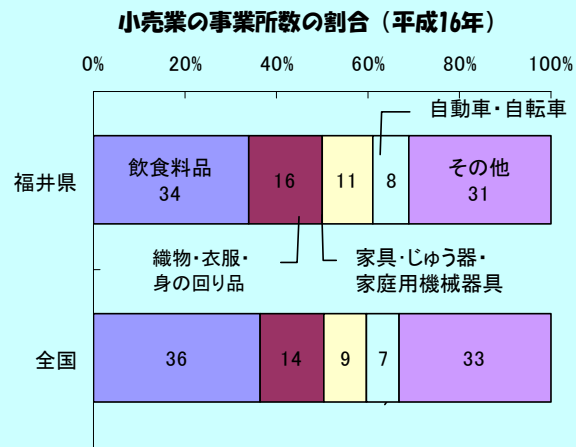
例) どのような収入がどの程度あるか、見てみよう



## ④ 帯グラフ

全体の中でどれくらいあるかを時間や分類で比べます。

例) 福井県と全国の小売業の事業所の割合を比べてみよう

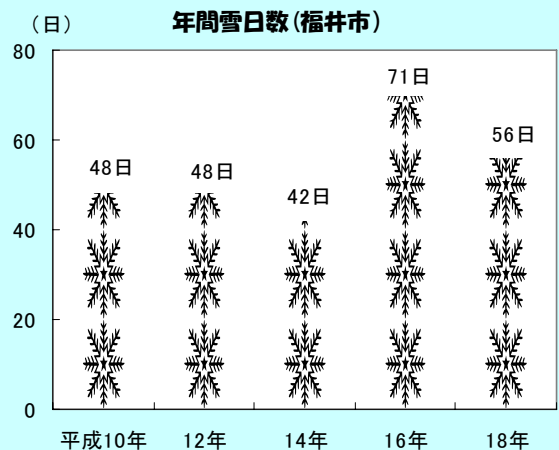


出典:商業統計調査(経済産業省)

## ⑤ 絵グラフ

数量や大きさを絵を用いて表します

例) 雪の結晶1つを20日としたグラフを比べてみよう



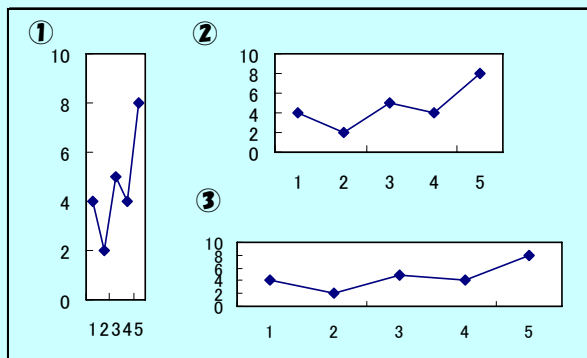
出典:気象庁年報

## ポイント



とおるくん、けいこちゃん、  
下の3つのグラフから気づくことはない？

①は、数値の変化が大きいグラフだと思うわ。



③は、数値の変化があまりないグラフだと思うな。



3つとも同じデータのグラフなのよ！  
同じデータなのに、目盛りのとり方によって変化がゆるやかに見えたり、大きく見えたりしているの。

本当だ！  
横長だと変化が小さく、縦長だと変化が大きく見えるね。



同じデータでも、グラフの書き方によって印象が変わってしまうため、グラフを作るときは、グラフから受ける印象が適正かどうか、誤った印象を与えていないか注意をしないとイケないよ。

また、グラフを見るときは、数値同士の差だけではなく、目盛りに気をつけることも大事です。